

ひかた椿小学校 第4回学校再編準備委員会

全体会 次第

日時：令和7年1月20日（月）
午後6時30分～
場所：ひかた市民センター

1. 開 会

2. 専門部会報告

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 総務部会 | (資料1) |
| (2) P T A ・通学部会 | (資料2) |
| (3) 学校運営部会 | (資料3) |
| (4) その他 | |

3. その他

次回開催日時：専門部会の進捗状況により開催する

4. 閉 会

※閉会后、専門部会を開催します。

資料1：総務部会 報告事項

資料2：PTA・通学部会 報告事項

資料3：学校運営部会 報告事項

総務部会 報告事項

1. 校歌について

- ・ 3校が統合して新しい学校がスタートするので、校歌も新しいものを制作。
- ・ 作曲は、旭市に縁のある専門家に委託。
- ・ 作詞は、総務部会で案を制作し、準備委員会にて決定。
- ・ 歌詞案の制作にあたり、歌詞に入れたい「単語やフレーズ」を干潟地域の小・中学生とその保護者及び保育所等の保護者から募集する。※別紙のとおり
- ・ 単語やフレーズの募集時期は令和7年2月。

今後のスケジュール (目安)

令和7年2月	単語やフレーズの募集
3月～7月	歌詞案の制作
8月	歌詞決定
9月～2月	専門家による曲制作
令和8年3月	曲決定

2. 校章について

- ・ 3校が統合して新しい学校がスタートするので、校章も新しいものを制作。
- ・ 公募によりデザイン案を募集して、その中から選定する。
- ・ 応募範囲は干潟地域の小・中学生及びその保護者。
- ・ 校章デザインの募集時期は令和7年6月頃予定。

ひかた 椿 小学校



あた がつ こうか かし
新しい学校の校歌の歌詞に入れたい

たんご
単語

フレーズ



ぼしゅう
を募集します！

れいわ ねん がつ ちゅうわしょう まんざいしょう こじょうしょう どうごう あら つばきしょうがっこう かいこう
令和9年4月に中和 小・萬歳 小・古城 小 が統合して、新たに「ひかた 椿 小学校」が開校します。

あた がつ こうか つく かし い たんご みな ぼしゅう
そこで、新しい学校 の校歌を作るために、歌詞に入れたい「単語・フレーズ」を皆さんから募集します。

あつ たんご さんこう さくし さつきよく たんとう せんもんか いらい こうか さくせい
集まった単語やフレーズを参考にして、作詞・作曲を担当する専門家に依頼し、校歌を作成します。

応募資格：干潟地域の小中学校の児童生徒及びその保護者、保育所等の保護者

応募期限：令和7年2月28日（金）



中学生及び保護者の方はこちらの
二次元コードから応募してください



なまえ
お名前：

がっこうめい がくねん
学校名／学年：

ねんせい
年生

応募用紙

たんご 単語・フレーズ ※一人5点まで		かし い りゆう おも 歌詞に入れたい理由や思いなど
1		
2		
3		
4		
5		

注) 応募のあった単語やフレーズをすべて使用するものではありません

※単語の例：干潟、椿、八万石、幽学、希望 など

※フレーズの例：希望あふれる、大空高く、楽しく学ぶ など

現在の学校の校歌一覧

中和小学校 校歌

作詞 勝 承夫
作曲 平井康三郎

一 光は清く 暖かく
丘に田の面に 満ちわたる
希望あふれて 昔も今も
千潟八万石 夢みのる
わが中和に 集まるわれら

二 偉人のおしえ 身に受けて
里のほまれを 語りつぐ
自主の気風の こともが育つ
干潟楽しいまち かぎりなく
なかよく強く われらは進む

三 香取の神の 庭までも
とどけ歌声 晴れやかに
明日をうけつ 誓も固く
干潟たゆまぬ 意気はつらつと
わが中和に のびゆくわれら

萬歳小学校 校歌

作詞 飯田 秀真
作曲 高梨 桂二

一 椿の海は いまいずこ
八万石の 広田こそ
祖先のいのち こもる土
あふれる光 かおる風
わが母校 萬歳小学校

二 かがやく真珠 苗のつゆ
みのりの秋の 金の波
大空高く 立つには
希望と夢の かけはしだ
わが母校 萬歳小学校

三 われらはよい子 よいまちを
よい日本を つくるのだ
きたえよ磨け 身と心
力をあわせ 進もうよ
わが母校 萬歳小学校

古城小学校 校歌

作詞 関沢潤一郎
作曲 山本 芳樹

一 希望の朝日 鎬木の
城址を照らし のぼるよう
理想をたかく のぞみつつ
楽しく学ぶ 学校は
輝く古城小 われらの母校

二 学びの道は 遠くとも
教えを守り 休みなく
わが師のもとに はげみつつ
文化の花を 咲かす日を
めざして進むは われらのつとめ

三 八万石の 大耕地
開ける丘の 校庭に
働く心 育てゆき
丈夫な体 きたえゆく
しあわせこそは われらのほこり

四 心は広く おおらかに
ゆるがぬ意思を 常に持ち
社会のために 役に立つ
立派な人になる 覚悟
これこそ古城小 われらのちかい



P T A ・ 通学部会 報告事項

1. 通学路について

- ・現在の通学路危険個所を抽出
- ・スクールバス運行ルートを選定

【運行ルート（案）について】

- ・スクールバスは中和小学校、萬歳小学校のエリアを対象とし、古城小学校は引き続き徒歩通学とする。ただし、スクールバスの運行ルートが概ね決定した後に、古城小学校学区の遠距離通学児童についてバス利用を検討する。
- ・ルートの仮走行の実施や停留所付近の安全対策等を担当部署と協議を行っていく。

表-1 バスルート素案

1号車	2号車	3号車	4号車
大型バス 約20分	大型バス 15～20分	マイクロバス 25～30分	マイクロバス 15～20分
①萬歳多目的研修センター  ひかた椿小学校	①関戸ふれあいセンター  ②ひかた市民センター  ひかた椿小学校	①溝原区集会所  ②大原幽学記念館駐車場  ③熊野神社  ひかた椿小学校	①ふれあいセンター  ②（仮称）米込停留所  ひかた椿小学校

【参考】想定するスクールバス（イメージ）



マイクロバス（33人乗）



大型バス（49人乗）

2. 体操服について

【長袖・長ズボン】

- ・各小学校で指定している長袖長ズボンについては、統合後は指定しない。
※運動時の長袖長ズボンの着用についてのルールを作成していく。

【半袖・半ズボン】

- ・デザインの選定、決定方法について検討する。
※現在利用している衣料メーカーから提案を頂く。

【参考】現在の体操服

中和小学校	萬歳小学校
	
古城小学校	干潟中学校
	

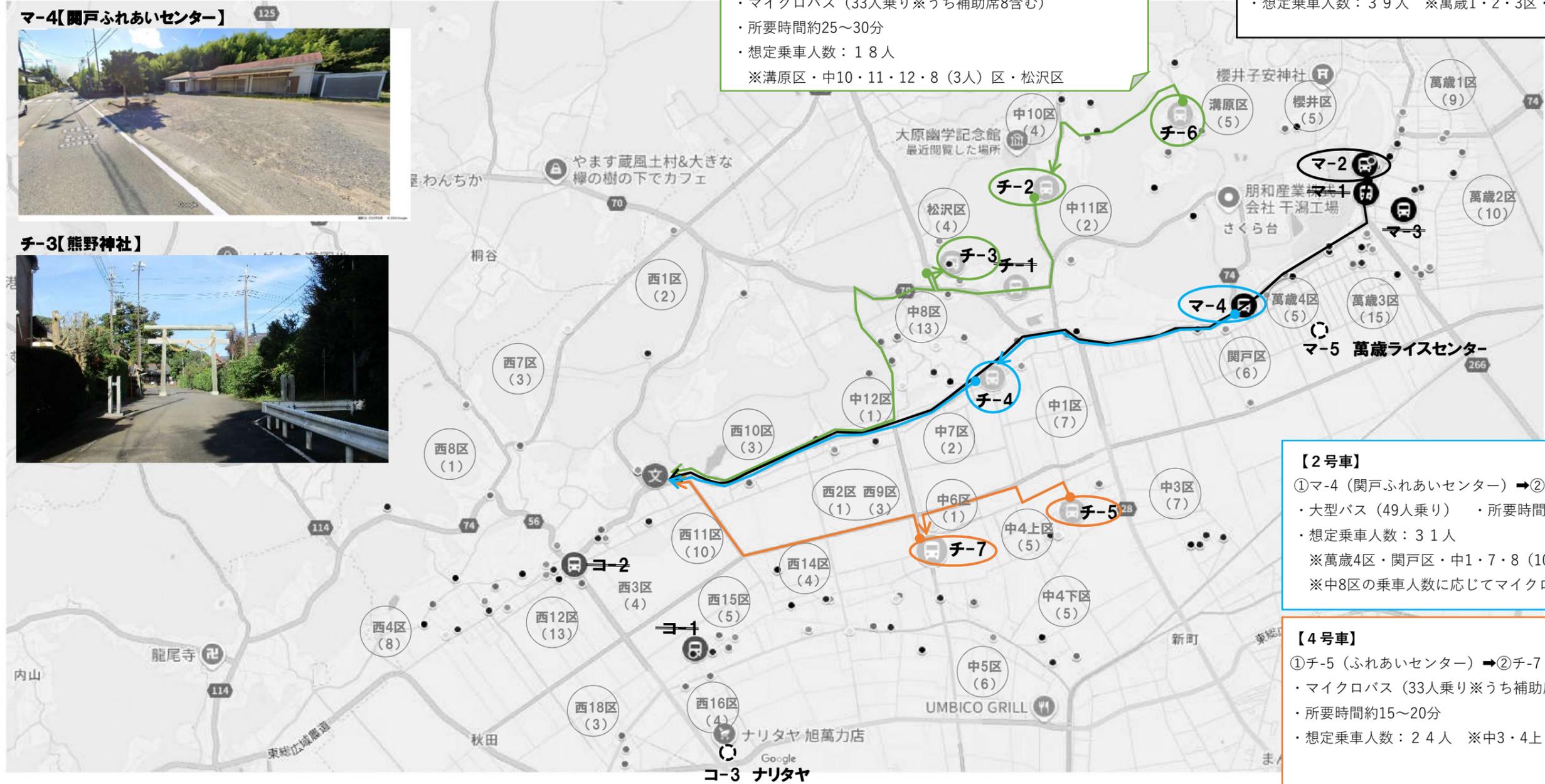
スクールバス検討資料 (バス停・バスルート案)

Google R9



【3号車】
 ①チ-6 (溝原区集会所) →②チ-2 (大原幽学記念館駐車場)
 →③チ-3 (熊野神社)
 ・マイクロバス (33人乗り※うち補助席8含む)
 ・所要時間約25~30分
 ・想定乗車人数: 18人
 ※溝原区・中10・11・12・8 (3人) 区・松沢区

【1号車】
 ①マ-2 (萬歳多目的研修センター)
 ・大型バス (49人乗り) ・所要時間約20分
 ・想定乗車人数: 39人 ※萬歳1・2・3区・櫻井区



【2号車】
 ①マ-4 (関戸ふれあいセンター) →②チ-4 (干潟市民センター)
 ・大型バス (49人乗り) ・所要時間約15~20分
 ・想定乗車人数: 31人
 ※萬歳4区・関戸区・中1・7・8 (10人) ・12区
 ※中8区の乗車人数に応じてマイクロバスも可

【4号車】
 ①チ-5 (ふれあいセンター) →②チ-7 (米込停留所)
 ・マイクロバス (33人乗り※うち補助席8含む)
 ・所要時間約15~20分
 ・想定乗車人数: 24人 ※中3・4上・4下・5・6区

令和9年度 児童分布想定 (住民基本台帳R6.10.1時点)
 学校別

マーク色	学年	中和小	萬歳小	古城小	合計
●	6年生	17	6	12	35
●	5年生	10	16	13	39
●	4年生	12	7	11	30
●	3年生	6	12	12	30
●	2年生	6	7	14	27
●	1年生	6	7	8	21
合計		57	55	70	182

地域別

中和地区	
中1区	7
中2区	0
中3区	7
中4上区	5
中4下区	5
中5区	6
中6区	1
中7区	2
中8区	13
中9区	0
中10区	4
中11区	2
中12区	1
松沢区	4

萬歳地区	
萬歳1区	9
萬歳2区	10
萬歳3区	15
萬歳4区	5
櫻井区	5
溝原区	5
関戸区	6

古城地区	
西1区	2
西2区	1
西3区	4
西4区	8
西5区	0
西6区	0
西7区	3
西8区	1
西9区	3
西10区	3
西11区	10
西12区	13
西13区	6
西14区	4
西15区	5
西16区	4
西17区	0
西18区	3

※住民基本台帳より算出しているため、実際の児童数と差異が生じる。

学校運営部会 報告事項

1. 交流事業について

【令和6年度に行われた交流事業】

- オンライン交流（11月～12月 1～3年で実施）
朝の会、詩の発表、町探検の紹介、古城小クイズなど
- 2校での交流
 - 10月：観劇（中和小・萬歳小）
 - 12月：なわとび教室（中和小・古城小）
 - 1月：マッスルパフォーマンス（萬歳小・古城小）

【令和7年度事業の検討】

- ・全校行事：冬のなわとび教室を予定（中和小・萬歳小・古城小）
 - ・学年別行事：市のバスを調整し、学年ごとに社会科見学・校外学習等を合同で行けるようにする
 - ・その他
 - ①1年生は家庭教育学級を活用して交流（児童＋保護者）を検討
 - ②小見川宿泊体験（5年生）と修学旅行（6年生）は中和小と萬歳小で合同実施
 - ③遠足や芋苗体験は、別々に実施する予定
 - ④その他、いずれかの小学校に集まった交流事業などを検討していく
- ※各学校の運営を主として、調整可能な範囲で事業を実施していく

2. 学校事務計画について

【学校運営・生徒指導について】

- ・統合に向けた学校事務（約50項目）について、統合時の運営方法について検討していく
例）年間行事、日課、通知表、クラブ活動、委員会など
- ・令和7年度に、学年ごとや教科ごとに担当者が集まる機会を設け、それぞれで検討していく予定

【学校備品について】

- ・令和7年夏に「古城小 備品・教材等 見学会」を実施する
- ・古城小学校の備品をベースに中和小と萬歳小から移動させるものを決めていく